

令和元年度事業報告

平成元年度は、県連合会と一体となり会員の増強に努めるとともに、事務所を軽海町へ移転いたしました。以下、令和元年度事業については次のとおり報告いたします。

1 会員の状況

年度当初の会員数は1,006人、年度中における入会が140人、健康その他の理由で退会した会員は148人で年度末会員数は998人となり8人減少いたしました。

2 事業実績

請負では、配分金240,448,391円（前年度233,516,698円 対比3.0%増）、契約金額277,532,247円（同270,019,951円 2.8%増）といずれも前年度を上回りました。

一方、労働者派遣事業では、派遣会員賃金130,230,869円（同133,467,438円 2.4%減）、派遣手数料11,887,872円（同13,347,665円 10.9%減）と前年度を下回りました。

3 就業の状況

就業実人員は784人（前年度773人 対比1.4%増）、就業延日人員87,164人（同88,766人 1.8%減）、年間就業率78.6%（同76.8% 1.8%増）となりました。

4 第3次中期計画の推進

センター事業の発展を図るため、平成30年度から令和4年度迄の5年間の計画を推進いたしました。

令和元年度実績		令和元年度末数値目標	
会員数	998人	／	目標値 1,080人
就業率	78.6%	／	同 82.0%
契約高	4億4千91万円	／	同 4億5千万円

5 事務所の移転

令和2年3月に事務所を小松市軽海町ノ25番地1へ移転いたしました。

6 入会の促進

- ① 原則毎月第2・4水曜日、センターにおいて入会説明会を開催いたしました。
- ② 県連合会主催の講習会を活用し入会を勧めました。
- ③ ホームページの仮会員登録により入会を促進いたしました。
- ④ ハローワークと連携し出張相談を、毎月第2、第4金曜日に実施いたしました。

7 就業機会の確保と普及啓発事業の推進

(1) 就業機会の確保

- ① 会員一人ひとりが「困ったことがあったらまずシルバーへ」の合言葉により仕事の開拓に当たりました。
- ② 就業を通じて口コミで仕事の開拓に当たりました。
- ③ 就業開拓部会員による企業訪問により就業機会の確保に努めました。
- ④ お客様満足度調査によりお客様の思いを取り入れ継続発注いただけるように努めました。
- ⑤ ホームページにより仕事の依頼を受付いたしました。

(2) 普及啓発事業の推進

- ① 市広報やマスコミへ情報の提供を行ないました。
- ② 各種イベントに参加しセンター事業を普及いたしました。
- ③ 「生きがい」を年2回全世帯へ配布いたしました。
- ④ ホームページ等を活用しセンター事業をPRいたしました。
- ⑤ 県連合会主催の講習会を活用しシルバー事業を啓発いたしました。
- ⑥ 県連合会とともに「シニアフェスタ2019in小松」を6月27日小松市民センターにおいて開催し400人の市民にシルバー事業をPRいたしました。

8 会員参加の活動推進

(1) 地域班活動

6つの地区において10月に地区奉仕作業を89人で実施いたしました。また、3月には松陽地区交流会を18人で行いました。

(2) 職群班活動

2月28日に飛び石事故防止をテーマにメーカーによる草刈機安全講習会を開催し、28人が参加いたしました。

(3) 専門部会活動

4つの部会毎にそれぞれの課題について検討いたしました。

9 安全就業の推進

- ① 県連合会と連携し安全研修会を7月に開催し、52人が安全就業意識を高揚させました。
- ② 安全就業標語の募集を通じて安全意識の高揚を図りました。
- ③ 請負で傷害事故は8件（前年度2件）、賠償責任事故は5件（前年度3件）と増加いたしました。また、派遣では労災事故は2件（前年度5件）、賠償責任事故は0件（前年度2件）と減少いたしました。
- ④ 11月に飛び石事故検証委員会を開催し、現場に出向いて事故内容を検討し、再発防止を図りました。

10 適正就業の推進

- ① ローテーション就業を推進し多くの会員が就業出来るよう工夫いたしました。
- ② 県連合会と連携し労働者派遣事業を推進いたしました。
- ③ 毎月第3水曜日に就業相談会を開催し、会員の就業を推進いたしました。

11 高齢者活用・現役世代サポート事業の実施

人手不足分野に会員を派遣し地域や事業所の要望に応えました。

12 各種事業の推進

(1) シルバー感謝祭の開催

10月27日にせせらぎの郷において感謝祭を開催いたしました。

(2) 独自事業の推進

- ① 里っ子教室に小学3・4年生41人（1期23人、2期18人）（前年度38人）を迎え、家庭や学校では体験できない小松の素晴らしい自然や伝統文化に触れる事業を実施いたしました。
- ② しめ飾りを作り、945,827円（前年度939,145円）を売り上げました。
- ③ 包丁研ぎを毎月第2土曜日にタウンオアシスで行い、19,400円を売り上げました。
- ④ 和服リフォーム品等を道の駅、空の駅、海の駅やイベント等で販売し、976,050円（前年度953,241円）を売り上げました。
- ⑤ スマイルシニア農園で栽培した野菜や加工品を道の駅、空の駅、せせらぎの郷や感謝祭等のイベントで販売し、1,008,719円（前年度1,125,738円）を売り上げました。

(3) 賛助会員制度の推進

シルバー事業について65団体から理解と協力が得られました。

(4) ビュッフェ・こまつせせらぎの運営

ビュッフェ・こまつせせらぎに12,363人（前年度13,444人）のお客様をお迎えいたしました。

13 受注業務の迅速化

お客様からの信頼を得るため、受注から就業、請求に至る迄の迅速化を会員と一体となって取り組みました。

14 里山健康学校せせらぎの郷の運営

せせらぎの郷を指定管理者制度で効率的に運営いたしました。

15 設立40周年記念事業の検討

令和2年10月に設立40周年を迎えることから、記念事業の実施に向けて検討いたしました。